

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指を挟まれないよう注意）が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

! 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。

- 煙が出ている、変なにおいがするなど異常のとき
- 内部に水や金属物が入ってしまったとき
- 落としたり、キャビネットが破損したとき
- 電源コード（ACアダプター）が傷んだとき（芯線の露出、断線など）

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

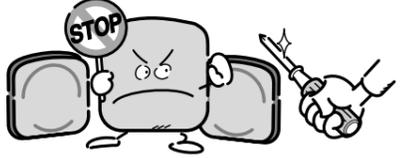
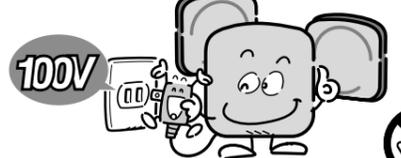
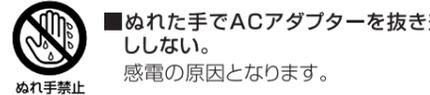


⊘ この機器を分解・改造しない。故障や火災・感電の原因となります。

⊘ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。故障や火災・感電の原因となります。

⊘ 水をかけたりぬらしたりしない。● 機器が水がかかる場所（風呂場や台所など）で使用すると、内部に水が入り、火災や感電の原因となります。● 万一、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、販売店にご連絡ください。

⊘ ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない。感電の原因となります。

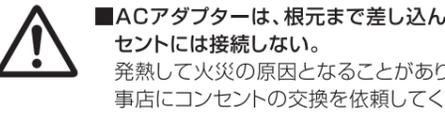
注意

! ACアダプターは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しない。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

⊘ ACアダプターの取り扱いについて。● この機器には専用のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障や火災・感電の原因となります。

! 電源プラグ（ACアダプター）を抜くときは電源コードを引っ張らない。コードに傷がつき、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグ（ACアダプター本体）を持って抜いてください。

! ACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。





使用上のご注意

- 直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になるところに放置すると、変形・変質をまねくため、ご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤などで拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。

故障かな? と思ったら 修理に出す前に次の点をお確かめください。

| 症状 | 原因 | 処置 |
|------------|--|---|
| 電源が入らない | ◎ACアダプターがコンセントから抜けていませんか。 ◎電源スイッチがOFFになっていませんか。 | ◎ACアダプターをコンセントにしっかり差し込んでください。 ◎電源スイッチをONにしてください。 |
| 音が出ない | ◎接続した機器のボリュームが最小になっていませんか。 ◎ポータブルMDなどが正しく接続されていますか。 | ◎ボリュームをお好みの音量まで上げてください。 ◎もう一度、確かめて正しく接続してください。 |
| 音がひずむ | ◎信号が過大入力になっていませんか。 | ◎接続した機器の音量を下げてください。 |
| テレビに色ムラが出る | ◎防磁タイプのスピーカーユニットを使用していますが、テレビの種類によっては出る場合があります。 | ◎テレビから少し離してご使用ください。 |

Victor
THE MASTERS' VOICE

取扱説明書

デジタルアンプスピーカー 型名 SP-A500



お買い上げありがとうございます。

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

主な仕様

- スピーカーユニット: 口径50mm×2
- 電源: DC5V (専用ACアダプター使用)
- 実用最大出力: 1200mW + 1200mW (JEITA*)
- 入力コード: 30cm
- 入力端子: φ3.5mmステレオミニプラグ (金メッキ)
- 外形寸法: 幅22.0cm×高さ11.0cm×奥行3.6cm (閉じたとき) / 幅32.0cm×高さ10.7cm×奥行10.0cm (開いたとき)
- 質量: 約420g (ACアダプター含まず)
- 付属品: 専用ACアダプター

*本機の仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。*JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

保証とアフターサービス

保証書は必ずお受け取りください

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について

保証期間はご購入の日より1年間です。保証書の規定に従って、お買い上げの販売店にて修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

当社は、このデジタルアンプスピーカーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな? と思ったら」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも具合の悪い時は、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

- ビクターデジタルアンプスピーカー SP-A500
- お名前とおとこ
- 電話番号
- 故障症状 (詳しく)

なお修理の際は必ず本システム全体をご持参ください。

アフターサービスについてご不明な点は

ご購入店、ご贈答、その他アフターサービスについて不明な点は、お買い上げの販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

東京 電話 (03) 5684-9311 大阪 電話 (06) 6765-4161
FAX (03) 5684-9317 FAX (06) 6765-4891
〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

AV & マルチメディアカンパニー 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

接続と使いかた

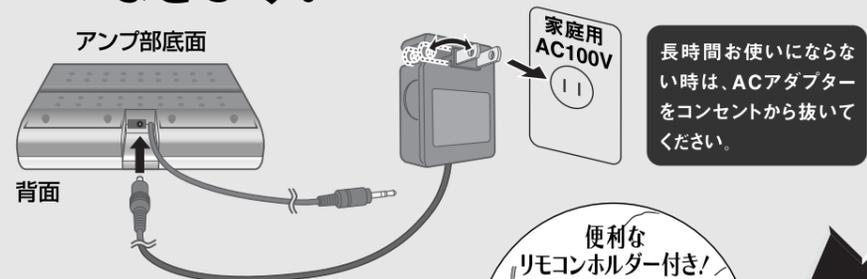
気分やスペースに合わせてスタイルを変えられるツインスタイル

SP-A500

●接続時は電源スイッチは必ず切って (OFF) おきましょう

接続

- 1 ACアダプターをつなぎます。

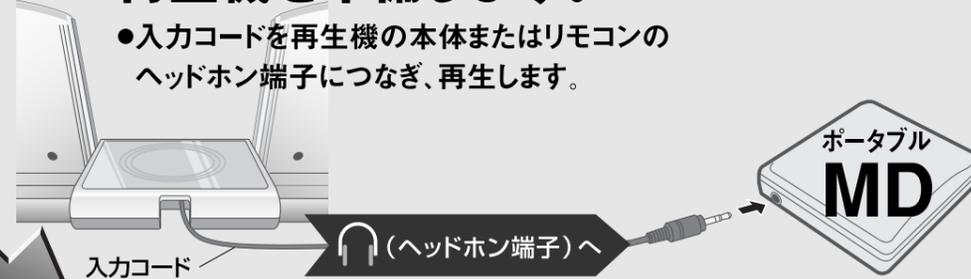


- 2 スピーカーをセッティングします。

MDと楽しむなら
コンパクトに楽しむなら

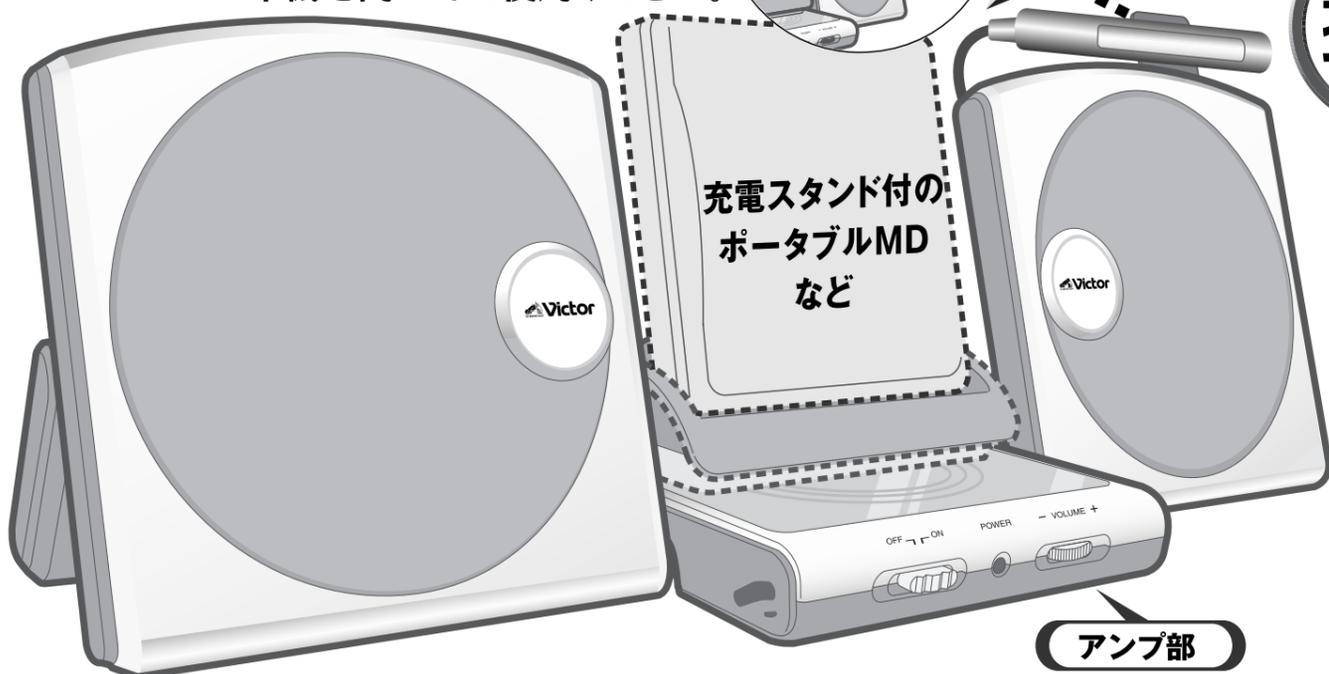
- 3 ポータブルMDなどの再生機を準備します。

●入力コードを再生機の本体またはリモコンのヘッドホン端子につなぎ、再生します。



Style 1

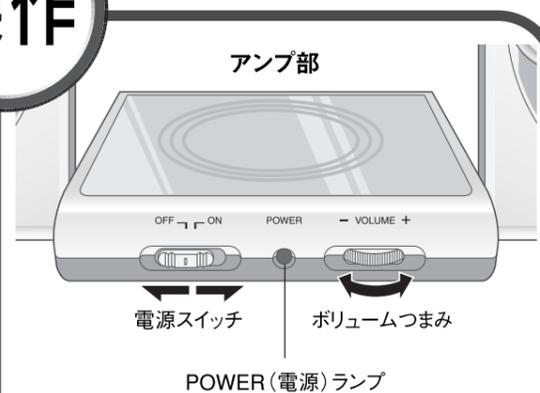
本機を開いてご使用ください。



ご注意 ●充電器に置くと再生が開始できないポータブルMDがあります。このようなときは、さきに再生を始めてから充電器にのせてください。

●ポータブルMDをアンプの上に置いてお使いのときに、音量を上げすぎると、音飛びすることがあります。そのような場合には音量を下げるか、アンプの上からポータブルMDをおろしてお使いください。

操作



電源スイッチ: ON:電源「入」OFF:電源「切」
ON(電源「入」)時に、POWER(電源)ランプが点灯します。

ボリュームつまみ:音量を調節します。
もっと音量を上げたいときは、再生機側のボリュームを上げてください。
●再生機側のボリュームを上げすぎると、音がひずむことがありますので、ご注意ください。

Style 2

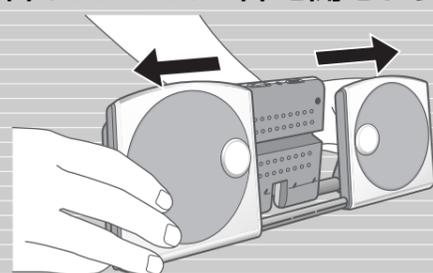
スタンドを広げてご使用ください。



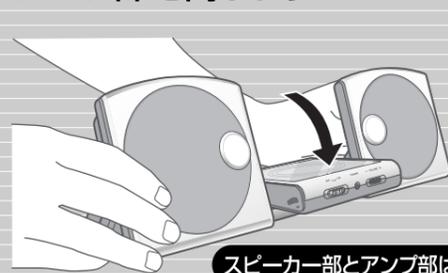
ご注意 この状態からスピーカー部を開くときは、はじめにスタンドを閉じてください。

開きかた

- 1 左右のスピーカー部を開きます

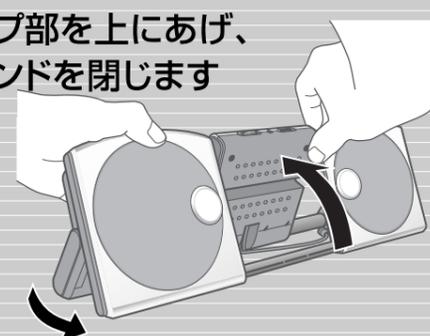


- 2 アンプ部を倒します



閉じかた

- 1 アンプ部を上にあげ、スタンドを閉じます



- 2 左右のスピーカー部を閉じます

